

令和7年度（2025年度）前期・通年

授業公開講座 受講生募集

募集期間

2025.2.3(mon) ~ 2.21(fri)

募集要項

【募集期間】 2025年2月3日（月）～2月21日（金）

※インターネットよりお申込みの場合 : 2月21日 13時締切

※郵送または持参にてお申込みの場合 : 2月21日 13時必着

講座毎に受講要件が異なりますので、講座概要（8ページ～）を必ずお読みいただき、お申し込みください。

受講資格

満18歳以上の方（2025年4月1日時点）

開講講座・日時

「講座一覧」（6ページ～）を参照してください。令和7年度（2025年度）前期は2025年7月29日（火）まで、通年は2026年2月2日（月）まで授業が行われます。（最終授業日は、各講座の曜日で異なります。）カリキュラムの都合上、曜日・時限・教室が変更になる場合があります。講座の内容についてのお問い合わせはお受けしていませんので、このパンフレットにてご確認をお願いします。

募集定員

講座毎に定員がありますので、「講座一覧」（6ページ～）をご確認ください。

申込方法

申込方法について（4ページ）をご確認ください。

受講者選考

「抽選」による場合と「理由書」による場合があります。「講座一覧」（6ページ～）および「講座概要」（8ページ～）に選考方法が記載してありますので、ご確認の上お申し込みください。

「抽選」の講座については、応募者多数の場合は厳正なる抽選により受講者を決定いたします。「理由書」の場合は、担当教員が理由書に基づき選考を行います。

なお、選考方法が「理由書」の講座を希望し、インターネットよりお申込みの場合は、お申込み後にお送りする受付完了メールを確認していただき、「理由書」を添付して返信してください。（Word、Excel等様式は問いませんが、氏名・講座名を必ず明記してください）「理由書」の提出をもって、正式な受付完了扱いとなりますので、ご注意ください。郵送または持参にてお申込みの場合は、パンフレット添付の申込書（15ページ）に記入してください。枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付してください。

結果の通知

3月上旬頃、申込者全員に選考結果を郵送によりお知らせします。

受講料（1 講座につき）

	週 1 回	週 2 回
前期	5,000 円	10,000 円
通年	10,000 円	20,000 円

本学にて開催する受講手続・説明会にご参加いただき、現金で受講料をお支払いいただきます（下記参照）。お支払いいただいた受講料は返金できませんので、ご了承ください。（本学都合の場合は除く）

また、受講料の領収書の宛名は申込者ご本人となります。

受講手続・説明会

- ・ 3月25日（火） ① 10:30 ② 14:30
- ・ 3月26日（水） ① 10:30 ② 14:30

上記のいずれかの日程に必ずご参加ください。

受講に係る注意点などの説明のあと、受講料をお支払いいただき、受講票等をお渡しいたします。

受講にあたっての注意事項

1. 講座について

公開講座は、本来学生のための授業です。受講者に合わせた内容ではありません。

- ・ 講座での教員への質疑応答は、学生を優先します。
- ・ 講座中は教員の指示に従ってください。
- ・ 講座時間外での質問等には応じられません。
- ・ 受講者への「学力評価（試験）」及び「単位の認定」は行いません。

2. 受講について

- ・ お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。
- ・ 同伴や見学は、お断りします。
- ・ 施設内は禁煙です。
- ・ 貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

※ご注意 【オンラインツールの利用について】

授業公開講座は対面の講座ではありますが、お申し込みいただく講座によっては、ご自身のパソコンやスマートフォンを使い、オンラインツールを利用して受講いただく場合があります。講座概要（8ページ〜）に利用するオンラインツールを記載していますので、ご自身で基本的な操作ができることをご確認の上、お申込みください。なお、受講中の操作方法についてのサポート対応、機器の貸出はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

〔利用予定のオンラインツール例〕

Eメール：ご自身が普段使用しておられるEメールアドレスを利用し、講師と直接やり取りしていただきます。

Microsoft Teams：本学が発行するMicrosoftアカウントで、動画視聴・資料閲覧、課題提出等を行うことができるアプリです。二要素認証を行うため、電話番号が必要です。利用できる端末は、Windows8.1以降、OS X 10.11以降となりますので、ご自身でお使いの端末をご確認ください。

3. 欠席について

授業を欠席する場合、教員及び地域・研究連携センターへの連絡は不要です。

4. 休講・補講について

自然災害や教員のやむを得ない事情により、講座の休講、補講を行う場合があります。

休講、補講、教室変更については、Webサイト「地域ラブラトリー」→MENU→講座・学び→定期講座のページでお知らせいたします。原則、個別に連絡はしませんので、講座の前には必ず確認して来学してください。

なお、緊急の場合はできる限り電話等によりお知らせいたしますが、ご連絡できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

5. テキスト代等その他の費用について

受講者が講座で使用するテキストの代金及び講座に係るその他の費用は、受講者負担となります。

6. 講座の中止について

学生の受講が少ないなどの理由により受講決定後に開講中止となる場合があります。

その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。

7. 受講の停止について

受講者による本学内での迷惑行為（妨害、大声、付きまとい、暴力など）が生じ、講座運営に支障をきたす等、大学の秩序を乱したと本学が判断した場合は、講座開始後であってもすべての授業公開講座の受講を停止させていただきます。なお、この場合、お支払いいただいた受講料は返金できません。またその後、本学の講座は受講できなくなります。

8. 損害賠償について

本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出てください。その損害を弁償していただくことがあります。

9. 個人情報について

お申し込みの際にご提供いただいた個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。また、個人情報保護の観点から、他の受講者、教員、本学学生に関する連絡先等をお知らせできません。

10. 通学方法について

本学では、自家用車での入構規制を行っております。可能な限り公共交通機関をご利用ください。ただし、特段の理由によって自家用車を利用しなければならない方や、片道5 km以上の場合は、駐車許可をしています。駐車には必ず「許可証」が必要ですので、受講手続きの際に申請してください。

11. 学内施設の利用について

受講者は、図書館及び売店や食堂をご利用いただけます。図書館をご利用の際は「受講票」が必要となります。

申込方法

募集期間内にインターネットもしくは郵送・持参にてお申込みください。

インターネットよりお申込みの場合

※令和7年(2025年)2月21日(金)13時締切

■**申込方法**：Webサイト「地域ラブラトリー」の募集ページに掲載しているお申込みフォームより必要事項をご入力の上、お申込みください。

Webサイト「地域ラブラトリー」→MENU→お知らせ
→授業公開講座受講生募集ページ

<https://puk-loveratory.com/news/20865/>



■**申込確認**：お申込み後、地域・研究連携センター(renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp)からEメールを返信します。
お申込みから1週間を過ぎてもEメールが届かない場合は、お申込みが正常に受付されていない可能性がありますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。

郵送または持参にてお申込みの場合

※令和7年(2025年)2月21日(金)13時必着

■**申込方法**：パンフレット添付の申込書(15ページ)に必要事項をご記入の上、下記住所に郵送またはご持参ください。受講申込み1講座につき申込書1枚となります。

複数講座をお申込みの場合は、添付の申込書をコピー、もしくはWebサイト「地域ラブラトリー」の募集ページから申込書をダウンロードしてお使いください。



〒862-8502 (専用郵便番号のため、住所記載不要)

熊本市東区月出3-1-100

熊本県立大学 地域・研究連携センター「授業公開講座」担当 行

■**申込確認**：郵送の場合は郵便到着後、受付確認のメールまたはお電話をいたします。

お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター

(学内図15番 グローカル棟1階)

TEL：096-321-6612

E-mail：renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

受付時間

平日(月～金) 9:00～12:20

土日祝を除く 13:20～16:00

令和7年度授業公開講座時間割

※時間割の変更がある場合があるので、Web「地域ラブラトリー」→MENU→「講座・学び」より確認してください

曜日	月			火			水			木			金		
	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員	番号	講座名	教員
1 時限 (8 : 40 ～ 10 : 10)	11	建築環境工学 I	辺原 万規彦	18	社会論理	江崎 一朗	2	中国語入門B-a【週2回】	山田 俊	2	中国語入門B-a【週2回】	山田 俊	2	中国語入門B-a【週2回】	山田 俊
							3	中国語入門B-b【週2回】	岡村 真寿美	3	中国語入門B-b【週2回】	岡村 真寿美	3	中国語入門B-b【週2回】	岡村 真寿美
2 時限 (10 : 20 ～ 11 : 50)	5	日本語史 I	米谷 隆史	17	食資源開発学	松崎 弘美	24	経営分析論	望月 信幸	27	韓国語入門A・I・II-b【通年】	矢野 初美	27	韓国語入門A・I・II-b【通年】	矢野 初美
							26	韓国語入門A・I・II-c【通年】	矢野 初美						
3 時限 (12 : 50 ～ 14 : 20)	12	住まいと地域環境	柴田 祐(他)	16	食品分析学	白土 英樹	9	近代日本の歩み	大島 明秀	1	英語V(d)	李 世恩	4	中国語発展 I b	岡村 真寿美
				21	現代の国際関係	高埜 健	13	農山村域計画学	柴田 祐	7	方言学基礎論	小川 晋史	25	ドイツ語発展 I・II【通年】	吉田 李佳
4 時限 (14 : 30 ～ 16 : 00)							6	日本語学概論 I	小川 晋史	14	住空間計画学	高橋 浩伸	28	日中比較文学 I・II【通年】	項 青
										23	公共経済学	井田 貴志			
5 時限 (16 : 10 ～ 17 : 40)							22	国際関係論	高埜 健	20	ヒューマンケア論	柴田 恵子	15	静定構造力学	李 麗
										10	地域文化研究 I	木崎 康弘	19	憲法 I	佐藤 雄一郎

注) 番号は講座一覧講座番号です

令和7年度 授業公開講座一覧（前期）

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料(円)
英語						
1	英語V (d)	李世恩	4月10日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
中国語						
2	中国語入門B-a【週2回】	山田俊	4月10日(木)/1時限 4月11日(金)/1時限	5名まで	理由書	10,000
3	中国語入門B-b【週2回】	岡村真寿美	4月10日(木)/1時限 4月11日(金)/1時限	5名程度	理由書	10,000
4	中国語発展I b	岡村真寿美	4月11日(金)/2時限	5名程度	理由書	5,000
日本語						
5	日本語史I	米谷隆史	4月7日(月)/2時限	若干名	理由書	5,000
6	日本語学概論I	小川晋史	4月9日(水)/4時限	若干名	理由書	5,000
7	方言学基礎論	小川晋史	4月10日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
文学・文化						
8	文献学基礎論	鈴木元	4月10日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
9	近代日本の歩み	大島明秀	4月9日(水)/3時限	若干名	理由書	5,000
10	地域文化研究I	木崎康弘	4月10日(木)/5時限	5名まで	抽選	5,000
環境						
11	建築環境工学I	辻原万規彦	4月8日(火)/1時限	若干名	理由書	5,000
12	住まいと地域環境	柴田祐(他)	4月7日(月)/3時限	若干名	理由書	5,000
13	農山村域計画学	柴田祐	4月9日(水)/3時限	若干名	理由書	5,000
建築						
14	住空間計画学	高橋浩伸	4月10日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
15	静定構造力学	李麗	4月11日(金)/4時限	3名程度	理由書	5,000
食						
16	食品分析学	白土英樹	4月8日(火)/3時限	若干名	理由書	5,000
17	食資源開発学	松崎弘美	4月9日(水)/2時限	5名まで	抽選	5,000

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料 (円)
公 共						
18	社会倫理	江崎 一朗	4月9日(水)/1時限	10名程度	理由書	5,000
19	憲法 I	佐藤 雄一郎	4月11日(金)/4時限	10名程度	理由書	5,000
20	ヒューマンケア論	柴田 恵子	4月10日(木)/4時限	若干名	理由書	5,000
国 際						
21	現代の国際関係	高 埜 健	4月8日(火)/3時限	若干名	理由書	5,000
22	国際関係論	高 埜 健	4月9日(水)/5時限	若干名	理由書	5,000
経済・ビジネス						
23	公共経済学	井田 貴志	4月10日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
24	経営分析論	望月 信幸	4月10日(木)/1時限	若干名	理由書	5,000

令和7年度 授業公開講座一覧（通年）

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選考方法	受講料 (円)
ドイツ語						
25	ドイツ語発展 I・II	吉田 李佳	4月11日(金)/2時限	若干名	抽選	10,000
韓国語						
26	韓国語入門 A I・II-c	矢野 初美	4月10日(木)/1時限	3名程度	理由書	10,000
27	韓国語入門 A I・II-b	矢野 初美	4月11日(金)/1時限	3名程度	理由書	10,000
文 学						
28	日中比較文学 I・II	項 青	4月11日(金)/2時限	若干名	理由書	10,000

1	英語 V (d)	前期
【講師】	李世恩	
【日時】	4月10日～・毎週木曜日 3時限目 (12:50～14:20)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000円
【講義内容】	中級 / 一般教養 英語リーディング (TOEIC) 対策含む	
【テキストについて】		
使用テキストは、受講手続・説明会にてご案内いたします。		
【オンラインツールについて】		
講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書 (200文字程度) により決定		

2	中国語入門 B-a	前期 週2回
【講師】	山田 俊	
【日時】	4月10日～・毎週木・金曜日 (週2回) 1時限目 (8:40～10:10)	
【募集人数】	5名まで	【受講料】 10,000円
【講義内容】	初級 中国語の発音記号 (ピンイン) の学習から初めて、 初級中国語の文法の習得を目指す。	
【テキストについて】		
『極める中国語 (改訂版)』 (内田慶市・張軼欧、同学社 / 2,500円 + 税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。		
【オンラインツールについて】		
講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書 (200文字程度) により決定		

3	中国語入門 B-b	前期 週2回
【講師】	岡村 真寿美	
【日時】	4月10日～・毎週木・金曜日 (週2回) 1時限目 (8:40～10:10)	
【募集人数】	5名程度	【受講料】 10,000円
【講義内容】	初級 初めて中国語を学ぶ人向けで、発音・表記・文法の基礎を学びます。	
【テキストについて】		
『中国語への道【初級編】—近きより遠きへ—改訂新版』 (内田慶市・奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 [著]、金星堂 / 2,500円 + 税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。		
【オンラインツールについて】		
Microsoft Teams を使用する場合があります。 講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書 (100文字程度) により決定		

4	中国語発展 I b	前期
【講師】	岡村 真寿美	
【日時】	4月11日～・毎週金曜日 2時限目 (10:20～11:50)	
【募集人数】	5名程度	【受講料】 5,000円
【講義内容】	準中級 中国語を1年程度学んだけれども、まだ十分身につけていないという人向け。 検定試験4級～3級程度の内容。	
【テキストについて】		
『続・中国語でおもてなし』 (おもてなし中国語教材開発研究チーム [著]、金星堂 / 2,300円 + 税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。		
【オンラインツールについて】		
Microsoft Teams を使用する場合があります。 講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書 (100文字程度) により決定		

5 日本語史 I 前期

【講師】	米谷 隆史
【日時】	4月7日～・毎週月曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

日本語の語彙の歴史を上代以降の文献資料から考えていきます。個々の語の意味や用法ではなく、その総体としての語彙の歴史とそれを記述するための方策や問題点を学ぶことを重視します。扱うテーマは次のようなものです。

- ①語種をめぐる諸問題 ②和語の語形と語構成
③文体と語彙 ④外国資料に見る日本語

【テキストについて】

『国語史を学ぶ人のために』(木田章義【編】、世界思想社/2,900円+税)

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【受講条件】

日本語学と日本文学史の基礎を十分に理解していること

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

6 日本語学概論 I 前期

【講師】	小川 晋史
【日時】	4月9日～・毎週水曜日 4時限目(14:30～16:00)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

日本語学(言語学)という学問は、日本語(言語)をどのように取り扱うのか、そして日本語はどのような特徴のある言語なのか、それを理解する上での最初の一步となるような内容について説明する。

【テキストについて】

『図解 日本語』(沖森卓也ほか、三省堂/2,000円+税)

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

7 方言学基礎論 前期

【講師】	小川 晋史
【日時】	4月10日～・毎週木曜日 3時限目(12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

日本の方言を中心テーマとして、毎回いろいろな方言にまつわるトピックを幅広く取り上げて説明します。対象となる方言は北海道から沖縄まで日本の全てが含まれます。受講者の皆さんが馴染みのある九州の方言については、折に触れて詳しく見ます。

【テキストについて】

『方言学入門』(木部暢子ほか、三省堂/1,800円+税)

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

8 文献学基礎論 前期

【講師】	鈴木 元
【日時】	4月10日～・毎週木曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

文学作品を含め、文字により記録された文献資料を、研究材料として扱うということはどういうことか、何に気を付けなければならないのか、そもそも、なぜ文献テキストそのものが問題として問われなければならないのか、我々が読んでいる作品本文は、本当に作者の意図を正しく伝えているのか、そんな話題を講義していきます。仮名文字のくずし字の読解練習を含みます。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

9 近代日本の歩み 前期

【講師】	大島 明秀
【日時】	4月9日～・毎週水曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級 / 一般教養

日本がいわゆる江戸期の体制から脱却し、日本型オリエンタリズムを獲得しながら「脱亜入欧」を目指した近代(明治以降)の歩みの理解を目標とする一方で、現在の東アジアをめぐる問題の歴史的な根深さを捉え、解決へ取り組む手がかりを模索することも課題とする。

【選考方法】

受講希望の理由書(800字程度)により決定

10 地域文化研究 I 前期

【講師】	木崎 康弘
【日時】	4月10日～・毎週木曜日 5時限目 (16:10～17:40)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

肥後の考古学では、明治期～昭和初期、縄文時代の貝塚、古墳時代の装飾古墳、飛鳥時代の鞠智城が研究の中心となってきました。講義では、これらに関する研究について、考古学史として紹介します。その場合、全国的な視点からも加味させていただきます。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

抽選により決定

11 建築環境工学 I 前期

【講師】	辻原 万規彦
【日時】	4月8日～・毎週火曜日 1時限目 (8:40～10:10)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	初級 / 専門

建築環境工学のうち、熱環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、もの見方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるようにできるだけ毎回演習問題を出題する予定です。関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

【テキストについて】

『図説 やさしい建築環境(第4版第2刷 2024年3月発行)』(今村仁美・田中美都、学芸出版社 / 2,800円+税)あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【受講条件】

高校卒業程度の数学、物理の知識が前提です。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

12 住まいと地域環境 前期

【講師】	柴田、高橋、田中、李
【日時】	4月7日～・毎週月曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

現代における住まいと地域環境の基本的問題を正しく理解し、事例を紹介しながら、居住環境創造に役立つ要点を多面的に講義し、住まいと地域環境について考えます。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

13 農山村域計画学 前期

【講師】 柴田 祐

【日時】 4月9日～・毎週水曜日
3時限目(12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

農山漁村地域における伝統的な生産や暮らしの仕組みが有している環境共生や持続的な仕組みを深く理解するとともに、それらが社会や生活の変化の中で崩れて行った過程を学ぶ。あわせて、これからの時代のわが国の農山漁村地域や農林漁業の方向性について、国内や海外の事例を通して考える。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

14 住空間計画学 前期

【講師】 高橋 浩伸

【日時】 4月10日～・毎週木曜日
3時限目(12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 初級/専門

ここで学ぶ住空間計画学は、我が国における住空間の変遷を縄文・弥生期の古代より現代までを概観し、その上で現代に最も影響を与えているであろう、先の大戦後の1950年代～2010年代までの名作住宅を検証し、我が国における住空間の特徴・様相を把握する。そして、これらの知識を基に、住空間創造における理念や考え方、そして具体的なデザイン手法を学ぶ。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

15 静定構造力学 前期

【講師】 李 麗

【日時】 4月11日～・毎週金曜日
4時限目(14:30～16:00)

【募集人数】 3名程度 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本科目では、建築構造力学の基本的事項を学ぶ。力(荷重)、反力、応力を理解し、静定構造物(静定梁・ラーメン構造・トラス構造)の反力、応力の求め方および応力図の描き方、断面諸係数、応力度の求め方を学習する。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

16 食品分析学 前期

【講師】 白土 英樹

【日時】 4月8日～・毎週火曜日
3時限目(12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 上級/専門

各種食品成分の分析において重要となる、試料調製法や一般成分分析法について解説します。さらに、ガスクロマトグラフィーなどの分離分析手法についても概説します。なお、本講義を受講するにあたっては食品を構成する化学成分(例えば炭水化物やタンパク質、脂質など)の基礎的な事項を理解していることを条件とします。

【テキストについて】

『食品分析学 - 機器分析から応用まで - 改訂版』(松井利郎・松本清/共編 培風館/2,900円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用することがあります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

17 食資源開発学 前期

【講師】	松崎 弘美	
【日時】	4月9日～・毎週水曜日 2時限目 (10:20～11:50)	
【募集人数】	5名まで	【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門	

食品は単に栄養素を供給するだけではなく、最近では保健機能(健康機能)が求められます。本講義では、健康を支える新しい食資源、健康を促進し保健機能を持つ新規機能性物質(特定保健用食品・機能性表示食品)、環境にやさしい農業生産のあり方、新しいバイオ技術(遺伝子組換え、細胞融合、ゲノム編集など)について紹介・説明・解説します。

【選考方法】

抽選により決定

18 社会倫理 前期

【講師】	江崎 一郎	
【日時】	4月9日～・毎週水曜日 1時限目 (8:40～10:10)	
【募集人数】	10名程度	【受講料】 5,000円
【講義内容】	一般教養	

テーマ「人生、いかに生きるべきか」

私たちは一体、何のために生きているのか。生きる目的は何なのか。人生の意義はどこにあるのか。私たちにとって、これ以上に重要なことはありません。すべては、ここから始まります。これなしには、人生を生き抜くことはできません。多くの人々が、最期を迎えるに際し、後悔します、あれをやるべきであったと、あるいは何のために生まれてきたのかと。私たちは、何をなすべきでしょうか。それは、自らの人生を正面から受け止めることから始まります。共に考えましょう。

【テキストについて】

『増補新装版・他者への自由—公共性の哲学としてのリベラリズム』(井上達夫、勁草書房/3,000円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(文字数は問わず)により決定

19 憲法Ⅰ 前期

【講師】	佐藤 雄一郎	
【日時】	4月11日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)	
【募集人数】	10名程度	【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門	

日本国憲法が保障している基本的人権の内容について、判例を基にして、詳しく講義します。憲法の人権規定の意味・内容を確定させているのは、最高裁をはじめとする裁判所の判例ですので、判例の内容や裁判所の内在論理を知らなければ、憲法が保障している基本的人権の意味・内容を正確に理解することはできません。そこで本講義では、日本国憲法が保障している基本的人権について、判例を基に、その内容や問題点も含めて、詳しく説明していきます。

【選考方法】

受講希望の理由書(文字数は問わず)により決定

20 ヒューマンケア論 前期

【講師】	柴田 恵子	
【日時】	4月10日～・毎週木曜日 4時限目 (14:30～16:00)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000円
【講義内容】	一般教養	

ヒューマンケアは健康的に人生を生きていくためにも、その技を学習することは有用である。ヒューマンケアに関する知識の習得は健やかな人生へとつながる。援助とは双方向の関係において実施されるもので、援助の本質とは援助される人とする人の双方の“生きる”を支えるということを理解する必要がある。(反転授業での実施予定)

【テキストについて】

『ヒューマンケア入門 看護・介護・福祉を正しく理解するための基礎知識』(柴田恵子、幻冬舎/1,300円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用します。
※ Microsoft Teamsに掲載される講義資料の事前学習が必要となります。(申し出があれば、プリント配布にて対応可)
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

21 現代の国際関係 前期

【講師】	高埜 健
【日時】	4月8日～・毎週火曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	初級/一般教養

日米関係を中心とした戦後の日本をめぐる国際関係、外交政策を時系列を追って詳細に説明していくつもりです。具体的には敗戦後日本の国際社会への復帰、安保改定、沖縄返還、日米経済摩擦とプラザ合意、アジア諸国との関係、日本の国際貢献、21世紀の国際関係と日本、等。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

22 国際関係論 前期

【講師】	高埜 健
【日時】	4月9日～・毎週水曜日 5時限目 (16:10～17:40)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	上級/専門

日米関係を中心とした戦後の日本をめぐる国際関係と日本の外交政策を時系列を追って詳細に説明していきます。但し全ての資料は英語版を用い、授業も日本語と英語の両方を用いて行います。具体的なトピックは、敗戦後日本の国際社会への復帰と再軍備、日米安保改定、沖縄返還、日米経済摩擦とプラザ合意、アジア諸国との関係、日本の国際貢献等。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

23 公共経済学 前期

【講師】	井田 貴志
【日時】	4月10日～・毎週木曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

公共経済学はその性格上、「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」といった基礎理論を土台として成立しているため、本講義においてもこれらの基礎理論を前提として、公共経済学の適応範囲の広さを実感してもらえらる内容にしていく予定である。

【テキストについて】

『私たちと公共経済』(寺井 公子・肥前 洋一【著】、有斐閣/2,000円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(300字程度)により決定

24 経営分析論 前期

【講師】	望月 信幸
【日時】	4月10日～・毎週木曜日 1時限目 (8:40～10:10)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

本講義では、財務諸表から企業の経営状態を把握する財務諸表分析を中心に講義する。具体的には、企業が作成する貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などを用いて、企業の経営状態を把握するための評価ツールとその利用方法について学習する。また、財務諸表だけではわからない企業の経営状況について、ファイブフォース分析やSWOT分析などを用いて学習する。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

25 ドイツ語発展 I・II 通年

【講師】 吉田 李佳
 【日時】 4月11日～・毎週金曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 10,000円
 【講義内容】 中級

初級ドイツ語を履修済の学生を対象に、ドイツ語の運用能力の向上を目指します。

【テキストについて】

『Spitzel2』(新倉真矢子ほか著、朝日出版社 /2,700円+税)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定

26 韓国語入門A I・II-c 通年

【講師】 矢野 初美
 【日時】 4月10日～・毎週木曜日
 1時限目 (8:40～10:10)
 【募集人数】 3名程度 【受講料】 10,000円
 【講義内容】 初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字と発音について講義します。次に簡単な短文が理解でき、また話せるように練習します。韓国語の言語としての特徴や韓国社会の反映としての韓国語という点に力をいれますので、挨拶等、実用的な会話を学びたい方には向きません。

【テキストについて】

『マル韓国語』(韓必南・全恵子、朝日出版社 /2,200円+税)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

【注意事項】

講座番号: 27『韓国語入門A I・II-b』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

27 韓国語入門A I・II-b 通年

【講師】 矢野 初美
 【日時】 4月11日～・毎週金曜日
 1時限目 (8:40～10:10)
 【募集人数】 3名程度 【受講料】 10,000円
 【講義内容】 初級

初めて韓国語を学ぶ人を対象に、韓国語の文字と発音について講義します。次に簡単な短文が理解でき、また話せるように練習します。韓国語の言語としての特徴や韓国社会の反映としての韓国語という点に力をいれますので、挨拶等、実用的な会話を学びたい方には向きません。

【テキストについて】

『マル韓国語』(韓必南・全恵子、朝日出版社 /2,200円+税)
 あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

【注意事項】

講座番号: 26『韓国語入門A I・II-c』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

28 日中比較文学 I・II 通年

【講師】 項 青
 【日時】 4月11日～・毎週金曜日
 2時限目 (10:20～11:50)
 【募集人数】 若干名 【受講料】 10,000円
 【講義内容】 専門

中国・日本・朝鮮半島・東南アジア諸国などアジア漢字圏の天人女房の話を紹介しつつ、世界各地の羽衣伝説も取り上げます。中国儒教の影響を受け、親孝行の思想を取り入れた東アジアの伝説と、インド仏教の影響を受け、鳥が女性に変身する東南アジアの伝説の異同を考察します。古文や漢文を読むことが多いため、ある程度の漢文の知識及び日本古典の知識が必要です。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (300文字程度) により決定

〈 申込みにあたっての注意事項 〉

- 1 本申込書は1枚1講座分でご記入ください。複数講座お申込みされる場合は、講座毎に申込書をご記入ください。この場合、2講座目以降の申込書は「氏名」、「申込枚数」、「合計講座数」、「受講希望講座」欄の記入のみで構いません。
- 2 「理由書」により受講者選定を行う講座は、指定の文字数を確認のうえ、希望理由を記入してください。なお、枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付して提出ください。
- 3 開講する曜日と時限が同じである講座を、重複して申し込むことはできません。
- 4 募集締切後の講座のお申し込み、変更は一切お受けできません。
- 5 決定通知後の取り消しは、お受けできません。
- 6 受講料は、受講手続・説明会にご参加いただき、現金でお支払いいただきます。また、お支払いいただいた受講料は返金いたしませんので、あらかじめご了承ください。（本学都合の場合は除く）
- 7 学生の受講が少ないなどの理由により開講中止となる場合があります。その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。
- 8 お申込みの際にご提供いただいた個人情報については、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。

施設紹介

講座で学んだ内容をさらに深めるために、キャンパス内の施設がサポートします。



① 図書館

専門書を中心に約 38 万冊の図書・雑誌を収蔵しており、自由に利用することができます。また、1～3 階の開架書庫・閲覧スペースには 360 の閲覧席を設けており、ゆとりをもって快適に学習できる環境を提供しています。

そのほか、1 階に国内外の主要紙を配置した新聞コーナー、学術雑誌を閲覧できる雑誌コーナーなども設けています。

館内の図書は、各階に備えている専門の端末機で検索することができます。

開館時間 平日 8:40～21:40 (夏季休業日 8:40～20:40)

土曜日 8:40～19:00 (夏季休業日 8:40～18:00)

休館日 日曜・祝日・開学記念日・年末年始等

(その他臨時休館日等は本学図書館ホームページでお知らせします)

② 熊本県立大学アーカイブ (図書館 2 階)

学内外の方々に幅広く熊本県立大学への理解・関心を深めていただく趣旨で、女子大当時の学術資料、写真、看板等を常時展示し、図書館を訪れる方々にご紹介しています。



学生食堂 (大学会館内)

カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けになっている明るい学食です。

人気メニューは、日替わりのランチやカレーです。
(11:00～13:45 ごろ)

書店・売店 (大学会館 2 階)

授業で使用するテキストや書籍、文具、事務用品の販売はもちろん、有料のコピー機なども設置しています。





地域・研究連携センターについて

熊本県立大学では、平成 18 年度の独立行政法人化にあわせ、地域との連携をより強化し、地域貢献の取り組みを充実していくことを目的として、地域・研究連携センターを設置しています。

地域・研究連携センターは、本学の教育研究資源を地域に繋ぐコーディネート機能や、授業公開講座・各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPD プログラム (Continuing Professional Development 継続的専門職能開発) など大学ならではの学びの場を地域に提供する役割を担うとともに、大学の研究力の向上に務め、「地域とともに生きる」熊本県立大学の地域貢献を推進します。

グローバル棟 1 階
地域・研究連携センター
 Tel 096-321-6612

学内配置図



県大と地域をつなぐwebサイト

／ 新しい情報を更新中 ／

授業以外の大学の活動を紹介しています。
あなたの、地域の「さがしもの」が見つかるかもしれません。

発見
したい

学び
足したい

熊本のお役に立ちたい研究室です。

地域
ラブラトリー
Kumamoto

熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

研究
したい

事業化
したい

学び
直したい

立案
したい

作り
たい

<https://puk-loveratory.com>

地域ラブラトリー

~ MEMO ~

A series of horizontal dotted lines for writing.



お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター（グローバル棟1階）
〒862-8502 熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL.096(321)6612
E-Mail renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

